

■しずだい産学連携メールマガジンVol. 68

2013年8月20日発行 【毎月第3火曜日】

⇒静大イノベーション社会連携推進機構より、お知らせやイベント情報をお届けします。http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/からもご覧頂けます。

◆◆◆ 目次 ◆◆◆

1. 「イノベーション・ジャパン2013」に出展します
2. 静岡大学・読売新聞連続市民講座2013
「グローバル化時代を生きる（全5回）」のご案内
3. 「センサエキスポジャパン2013・センサネットワーク技術展」に出展します
4. 「静岡大学食品・生物産業創出拠点 第33回研究会
しみず新事業創出研究会 合同研究会」のご案内
5. 「サイエンスカフェin 静岡」のご案内
6. 【第1回】電子回路設計者向け技術セミナー『アナログ編』in浜松 ご案内

※問合せ先のアドレスは、スパムメール防止のため表記を一部変更して
います。メール送信の際は[at]を@に変更してください。

-
1. 「イノベーション・ジャパン2013」に出展します
～大学見本市&ビジネスマッチング～

日時 2013年8月29日（木）9：30～17：30
30日（金）10：00～17：00

会場 東京ビッグサイト[東京国際展示場]
主催 (独)科学技術振興機構、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構

静岡大学の発表・展示

- 「表面弾性波を用いた直線・曲面用デジタル式変位計」
大岩 孝彰（工学研究科機械工学専攻 教授） ブースM-33
- 「安否確認システムの導入支援（クラウド安否情報システム：ANPIC）」
長谷川 孝博（情報基盤センター 准教授） ブースD-07
- 「非接触で人間の体の硬さを測定する計測器」
犬塚 博（工学研究科電気電子工学専攻 教授） ブースL-35
- 「高性能CMOSセンサを用いた低ノイズマルチアパーチャカメラ」
香川 景一郎（電子工学研究所 准教授） ブースI-28
- 「インピーダンス変化型センサの無電源無線化に関する研究」
近藤 淳（創造科学技術大学院 教授） ブースM-34
- 「革新的医用材料：新規な抗腫瘍剤及び低侵襲性材料開発」
山下 光司（創造科学技術大学院 客員教授） ブースW-38
- 「水溶液中の過塩素酸イオン及び硝酸イオンの呈色剤」
近藤 満（グリーン科学技術研究所 教授） ブースK-11

参加 無料

詳細 <http://www.innovation-japan2013.jp/>

静岡大学の問合せ先 静岡大学イノベーション社会連携推進機構

TEL 053-478-1718 FAX 053-478-1711

E-mail [invjp11\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:invjp11[at]cjr.shizuoka.ac.jp)

-
2. 静岡大学・読売新聞連続市民講座2013
「グローバル化時代を生きる（全5回）」のご案内

グローバル化の進展は、世界的な人の移動を加速させ、家族やコミュニケーションのあり方をはじめ、大きな社会構造の変化をもたらしました。これからどのような社会を構築していけばいいのか、さまざまな側面から展望します。

第2回「次世代を産み育てる新しい社会に向かって～フランスとの比較～」

講師：船橋 恵子（静岡大学人文社会科学部教授／社会学）

出生率の低下、子どもの貧困、育児と仕事の両立困難に悩む日本社会を変えていくには、どうしたら良いでしょうか。フランスの例を参考に考えます。

日時 2013年8月31日（土）14：00～16：00
会場 あざれあ（静岡県男女共同参画センター）6F大ホール
主催 静岡大学イノベーション社会連携推進機構、読売新聞東京本社静岡支局
参加 無料
定員 各回350人 ※4回以上ご参加の方には修了証を発行します。
詳細 <http://www.lc.shizuoka.ac.jp/event001202.html>
申込先 読売新聞静岡支局 静大市民講座係
TEL 054-252-0171 FAX 054-252-0310
E-mail shizuoka[at]yomiuri.com

3. 「センサエキスポジャパン2013／SENSOR EXPO JAPAN 2013
センサネットワーク技術展／SENSOR NETWORK TECHNOLOGY EXPO」に出展します

日時 2013年9月25日（水）～9月27日（金）10：00～17：00
会場 東京ビッグサイト[東京国際展示場]
主催 フジサンケイ ビジネスアイ（日本工業新聞社）

静岡大学の発表・展示

- 「インピーダンス変化型センサの無電源無線化に関する研究」
近藤 淳（創造科学技術大学院 教授）
 - 「高性能CMOSセンサを用いた低ノイズマルチアパーチャカメラ」
香川 景一郎（電子工学研究所 准教授）
- ※出展ブース名は「静岡技術移転合同会社（静岡TT0）」です。

参加 無料
詳細 <http://www.sensorexpojapan.com/>
静岡大学の問合先 静岡大学イノベーション社会連携推進機構
TEL 053-478-1718 FAX 053-478-1711
E-mail invjp11[at]cjr.shizuoka.ac.jp

4. 「静岡大学食品・生物産業創出拠点 第33回研究会
しみず新事業創出研究会 合同研究会」のご案内

日時 2013年9月27日（金）13：30～16：40
場所 アクトシティ浜松 コンgressセンター 52-54会議室
主催 静岡大学食品・生物産業創出拠点
共催 しみず新事業創出研究会・駿河湾地域事業化プロジェクト
後援 公益財団法人 静岡県産業振興財団（予定）
公益財団法人浜松イノベーション推進機構（予定）
公益社団法人 化学工学会 東海支部 静岡化学工学懇話会

講演
主題：D-アミノ酸の新機能とライフサイエンスへの展開
13：35～14：20

- ①「真核生物における遊離D-アスパラギン酸とその関連化合物の代謝酵素」
長岡技術科学大学 環境・建設系 環境システム工学 環境生物化学研究室

教授 解良 芳夫 氏

14:20~15:05

- ②「皮膚中遊離D-アミノ酸の存在及び機能の発見と、新たな抗老化アプローチの可能性」

(株)資生堂 化粧品基盤研究センター 薬剤開発グループ 研究員 東條

洋介 氏

15:20~16:05

- ③「D-アミノ酸分析技術の紹介と機能解析への展開」
味の素(株) イノベーション研究所 基盤技術研究所 先端分析研究グループ

研究員 唐川 幸聖 氏

16:05~16:30

- ④「感染症バイオフィーム形成のD-アミノ酸による制御」

静岡大学 大学院工学研究科 化学バイオ工学専攻 教授 金原 和秀 氏

17:00~18:30

懇親会 オークラアクトシティホテル浜松 45F スカイバンケット

研究会参加費 会員・共催・後援団体会員及び学生…無料

会員外…1,000円

懇親会参加費 会員・共催団体…3,000円

会員外…5,000円

※参加費は、当日、受付にてお願いします。

申込期日 9月18日(水)

参加申込み・問い合わせ先 静岡大学食品・生物産業創出拠点 事務局

〒422-8529静岡市駿河区大谷836

TEL: 054-238-4631 FAX: 054-238-3018

5. 「サイエンスカフェin 静岡」ご案内

サイエンスの最前線をわかりやすくお話しします。

コーヒーとお菓子を用意してお待ちしております。お気軽にお越し下さい。

第79話「津波、津波災害、津波防災について」

日時 2013年9月12日(木)

静岡大学防災総合センター 原田 賢治

第80話「老化と寿命はどこからやってくるのか？」

2013年10月31日(木)

静岡大学理学部生物科学科 丑丸 敬史

第81話「形の不思議」

2013年11月21日(木)

静岡大学理学部物理学科 佐藤 信一

第82話「同位体のささやきから知る自然」

2013年12月12日(木)

静岡大学理学部地球科学科 和田 秀樹

第83話「光でみるー顕微鏡のはなしー」

2014年1月30日(木)

静岡大学工学部機械工学科・電子工学研究所 川田 善正

会場 B-nest静岡市産学交流センター ペガサートビル6階
時間 18:00~19:30 (開場17:00)
主催 静岡大学理学部
参加費 無料
申込み 不要
定員 150名 (先着順) ※満席に達した場合、ご入場いただけません。
詳細 <http://www.sci.shizuoka.ac.jp/sciencecafe/index.html>
問合せ 静岡大学理学部物理学科 阪東一毅
TEL 054-238-4745 E-mail sci-cafe[at]ipc.shizuoka.ac.jp

6. 【第1回】電子回路設計者向け技術セミナー『アナログ編』in浜松 ご案内

電子回路設計者向け技術セミナー『アナログ編』は、アナログ・デバイス社のベテランエンジニアに講師を担当いただき、初めてアクトシティ浜松で開催いたします。

内容はご要望の多いデータコンバータと電源ICに関する基礎技術習得がテーマであり、特に中堅エンジニアまでの方に必見の内容が満載です。

これまでのセミナーは全て満員御礼となっております。

是非この機会に皆様のご参加をお待ちしております。

日時 2013年9月27日(金)12:00~16:45 (受付/デモ展示開始 12:00)
会場 アクトシティ浜松 研修交流センター 音楽工房ホール
対象 回路設計エンジニア
参加費 無料
定員 80名

※座席数が少ないため、お早めにお申し込みください。

主催 静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター
公益財団法人 浜松地域イノベーション推進機構
共催 浜松商工会議所
協賛 アナログ・デバイス株式会社
詳細/申込 <http://www.hai.or.jp/calendar/244.html>
問合せ 株式会社マクニカ 担当:竹内 TEL:045-470-9841
株式会社エルセナ 担当:小松 TEL:03-3345-6205

《 みんなのコラム -62- 》

記:グリーン科学技術研究所 兼 創造科学技術大学院 兼
工学研究科機械工学専攻 兼 超領域推進本部統括

教授

齋藤隆之

大学を卒業後、通商産業省(現 経済産業省)・工業技術院・資源環境総合研究所(現 産業技術総合研究所)に奉職した。ここで、20年間研究し、静岡大学に転任して13年になった。以来、基礎研究としては、混相流(液体と気体、液体と固体あるいは固体・液体・固体が混在する流動現象)に没頭してきた。バリバリの実験屋であることから、光ファイバーを利用した気泡や液滴の計測技術、レーザーを利用した流体計測技術の開発も行ってきた。誰も捉えたことのない現象やデータを採るには、自分で計測装置から開発する必要がある。時間はかかるが工夫を凝らした装置が出来上がる。装置だけではなく、混相流の物理と他の学術を基礎とした計測技術とを組み合わせることにより、新しい発想が生まれてくるし、自身の中に企業との連携へと発展する展開力が育ってくる。基礎研究や応用研究という枠を超えるこの展開力と学術の融合の結果生じる深化力とが、研究には重要と思っている。

研究をとおして、学生を鍛え上げ、育てることは楽しいし、研究と同様に私の生甲斐でもある。研究と教育を同時にできるのは大学だけである。この楽しさは、国立研究所では味わうことのできないものと言える。大学や世界が変わっていきこうが、研究と教育の本質は変わらない。真剣にかつ熱意を持って、学生を鍛えていこうと思う。

平成25年4月に発足したグリーン科学技術研究所に異動したが、混相流、光計測を中核技術として、農学、情報学と連携・融合した新たな研究プロジェクト「農工情融合・地域産学官連携による高度危機管理技術の開発ーウィルス性家畜伝染病の防疫技術と放射性物質除染技術の開発ー」を開始した。目的指向型の研究開発であり、静岡大学の研究成果を「役立つ技術」として具体化したい。

今後とも、皆様の厳しい叱咤激励を受けながら、研究と教育に全力を注いでいきたい。

<< 編集後記 >>

先日、世界文化遺産に登録された富士山は、静岡大学の学章にも描かれており、登録決定は私達にとっても嬉しいニュースでした。

学章のデザインは、静岡大学から眺められる宝永山がある表富士を背景に、手前の連なるうねりで遠州灘や駿河湾の波濤を表す構図。

スクールカラーは、早朝の富士山を連想させ、遠州灘・駿河湾にうねる波の色でもある「紫味の青」。

キャンパスキャラクターの「しずっぴー」も富士山がモチーフです。

深い縁の静岡大学と富士山。

世界で認められた富士山のように、静岡大学も国際的な拠点となり、革新的なイノベーションを生み出していければと思います。

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * -

◆メールマガジンに関するお問合せ・配信先変更・担当者変更・配信中止のご連絡は、[sangakukoho5\[at\]cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:sangakukoho5@cjr.shizuoka.ac.jp) までお願いします。（↑送付の際は[at]を@に変更してください。）

◆本メールマガジンの商業用の転載はお断りいたします。

発 | 行 | 者 |

国立大学法人静岡大学イノベーション社会連携推進機構

編集：原典子

発行責任者：木村雅和

〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1

TEL 053-478-1414

URL <http://www.oisc.shizuoka.ac.jp/>

* - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * - * -

Copyright (c) 2008-2013

Organization for Innovation and Social Collaboration,
Shizuoka University. All rights reserved